

市長とのおしゃべり会 会議録

日 時	令和6年9月1日（日） 10時00分～11時00分		
場 所	へきなん福祉センターあいくる 第3会議室		
出席者	申込団体	碧南防災ボランティア連絡会	人数 14人
	碧南市	小池市長、防災課長	
テーマ (概要)	防災に対するいろいろについて		
	・輪島地方とかの災害地の復興について、碧南市民としてどんな準備をすべきかを考えてみます。		

要旨

主な意見は以下の通り

(碧南防災ボランティア連絡会)

- ・栗山と雨池の防災倉庫にある物資で充分な備蓄がされているか?
→(防災課長) 食料と飲料水の備蓄をしており、1日2食の3日分の食料と1日3リットルの飲料水の備蓄している。
- ・1週間分の備蓄をする自助努力が必要である。
- ・大規模災害が発生した場合、資機材が届かないのではないか?
→(防災課長) 臨海公園ヘリポートに物資が届く。碧南高校グラウンドもヘリポートになっている。
→東北では予め資機材が用意されている。
→ボランティアが資機材を持っていく。
- ・被災地に行くボランティアに補助があると良い。
- ・独居老人が孤立してしまうのではないか?
→町内会に入っていない。老人会等に入ると横のつながりができる。
→要配慮者が取り残されないように、誰一人残さないようにするのが重要。
- ・自主防災会を1年で辞めてしまうのでは無く、残ってもらった方が良い。
- ・消防団は災害時にすごく活躍しているので、消防団OBがつながることも重要。
- ・防災カレッジや内閣府の講座などを受講すると良い。

(市長総括)

- ・人と人のつながりが大切である。
- ・一つ一つの積み重ねが大切である。

(対話の様子)

- ・参加者が防災について活発に意見交換を行っていた。